

2015年12月17日
愛知製鋼株式会社

新本館建設のお知らせ

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市 社長:藤岡高広)は、本日、現本社所在地である東海市荒尾町において新本館の建設に着工いたしましたのでお知らせします。

創立75周年にあたる本年、新本館の建設をスタートさせ、新本館では事業継続の確保、新しいワークスタイルへの対応、エコでダイバーシティ対応可能なオフィスを創設します。

当社は新本館の建設により、より一層、全てのステークホルダーとの共生をはかり、地域に愛されるモノづくり企業として存在価値の高い企業への成長をめざしてまいります。

建設の概要は以下のとおりです。

(1)目的

- ①事業継続体制強化(南海トラフ巨大地震、自然災害等への備え)
- ②新しいワークスタイルへの対応(知的生産性向上、コミュニケーション強化、ダイバーシティ)
- ③先導的省エネ技術の採用による、エネルギーハーフオフィスの実現

(2)建設の概要

	目的	新建物の概要
新本館	防災機能強化、 オフィスの生産性向上 オフィスの環境負荷低減	メイン棟:8階建、7,971 m ² 、免震構造
		ホール棟: 3階建、1,613 m ² 、免震構造

(3)主機能

1)事業継続体制の強化

- ①基礎免震構造の採用(積層ゴム+オイルダンパー)
- ②自家発電設備の新設(72時間の稼働)
- ③自然採光、地熱空調利用、停電時でも換気可能な自然換気、太陽光発電

2)新たなワークスタイル対応

- ①棟内無線LAN、モバイルフォン対応
- ②1フロア630m²一体のバリアフリー大執務空間(21m×32m)
- ③執務者100人に対して、70人分の会議・ミーティング・コミュニケーションスペース
- ④人に優しい吹出し感の少ない天井放射空調とアンダーフロア空調・エアフローウィンドウを併用
- ⑤人の生体リズムに合わせた照明制御を行い、健康増進と知的生産性向上を企画

3)エネルギーハーフオフィス

- ①一般照明はLED採用、昼光センサー制御(オフィス内)・人感センサー(共用部)
- ②壁ルーバー、外部庇(ひさし)、Low-e ガラスにより、直射日光を制御
- ③オフィス内の吹抜け階段(エコポイド)からの排熱を空調に活用
- ④地下ダクトを利用(夏はクールチューブ、冬はホットチューブ)し空調負荷を低減
- ⑤太陽光発電パネルの設置

(3)今後の計画

新本館 メイン棟 : 2015年12月着工、2016年12月竣工予定
ホール棟 : 2017年6月着工、2018年2月竣工予定

新本館イメージ図

